これからのPTAの在り方を考える研修会を開催しました!!

5月31日、総会終了後に「今こそ問い直すPTAのカタチ～永原小学校PTAの事例から、自校園のPTA活動に取り入れられそうな工夫やヒントは？～」をテーマとしたグループディスカッション形式の研修会を開催し、40名の方にご参加いただきました。

本研修会では、主体的かつ活発な活動を展開している永原小学校PTAの事例を共有し、コロナ禍による活動簡素化の流れや、組織運営・事業の進め方における新たな視点や柔軟性など、多岐にわたる課題について意見交換を行いました。

当日は、司会や運営スタッフが役割を越えて雰囲気づくりや参加者支援に尽力し、参加者全員が楽しく有意義に意見を交わせる場を提供することができました。「プロップス」という新アイテムも導入し、温かで前向きな空気の中、進行することができました。各グループでは予定時間を超えるほど活発な議論が交わされ、参加者同士が自校園での実践例や課題を率直に共有する姿が見られ、有意義に意見をかわしあっている姿が印象的でした。ディスカッション終了後には、各グループの代表が発表し、参加者全体で共有しました。

参加者からは、

・他市町との交流が有意義だった。
・PTA活動を前向きに捉える視点が得られた。
・参加型で学びが多く、事例発表や講評がとても良かった。今後も継続して欲しい。

といった声が寄せられ、研修終了後に実施したアンケート結果からも柔軟で前向きな活動への関心の高さと、その必要性を参加者の多くの方が感じておられることがうかがえました。

今回の研修では、実践的な事例紹介と、それをもとにした意見交換を通じて「これからのPTAの在り方」について具体的に考える貴重な機会となりました。

今回の内容は滋賀県PTA連絡協議会のホームページ等でも共有し、他地域での取り組みの参考として活用いただけるようにしながら、今後も学びと対話の場を継続的に企画・開催し、PTA の活性化や多様な視点の共有に繋げていきます。

「育ち合い・つながり合い・支え合おう！子どもたちの笑顔と未来のために!!」を合言葉に、今後も学びと対話の場を継続的に企画し、地域に根差したPTA活動を共に築いてまいりましょう。